



このまち **思い** エネルギー。

# 広島ガス

2018年5月24日

1. 2017年度決算実績
2. 2018年度業績見通し
3. 中期経営計画
4. トピックス
  - (1) 持続的発展に向けた取り組み
  - (2) CSRへの取り組み

# 1. 2017年度 決算実績

---

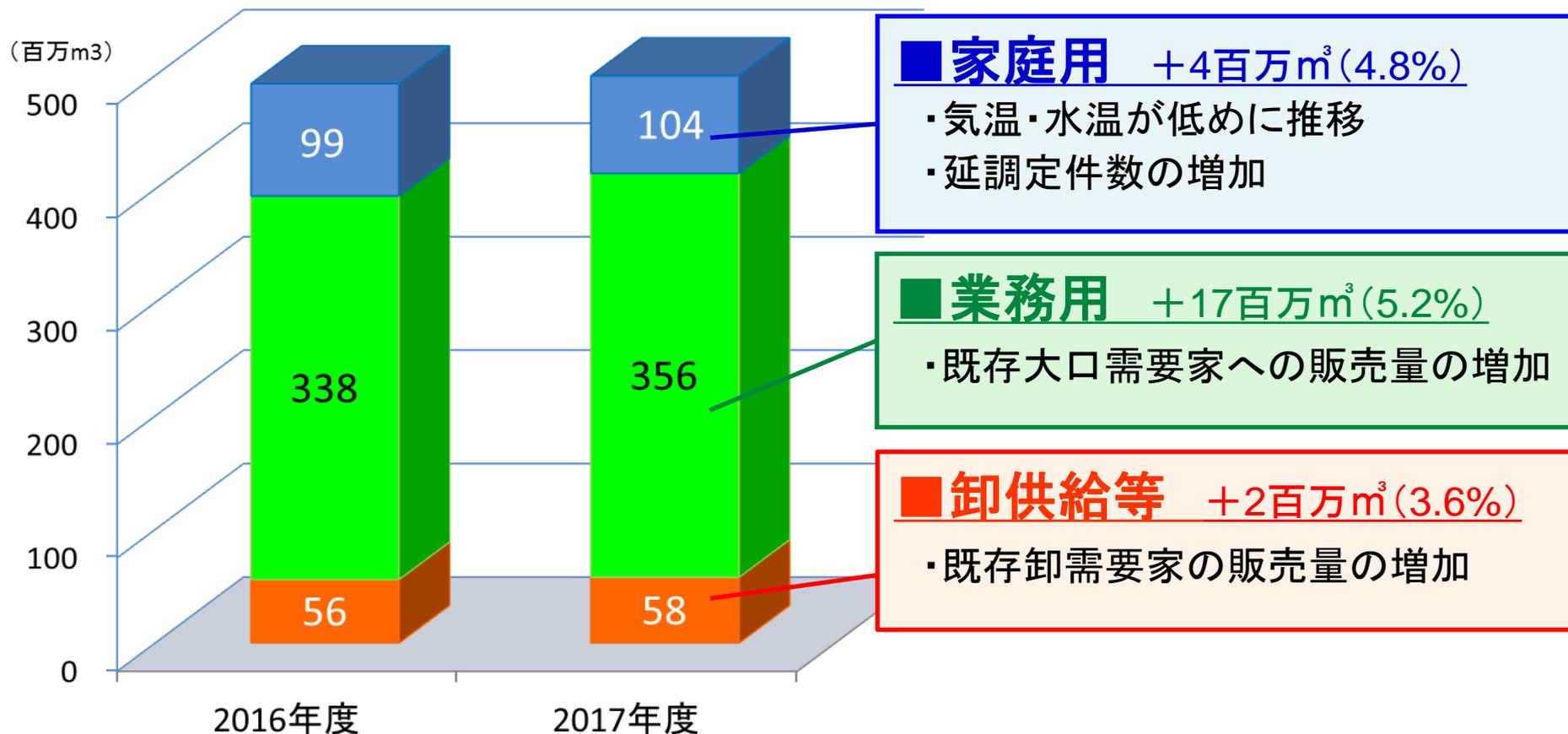


- (1) ガス販売量実績
- (2) 2017年度 決算実績
- (3) セグメント別 決算実績
- (4) 財政状況
- (5) 株主還元方針

# (1) ガス販売量実績



2017年度 ガス販売量 **519百万m<sup>3</sup>**  
(+24百万m<sup>3</sup>、+5.0%)

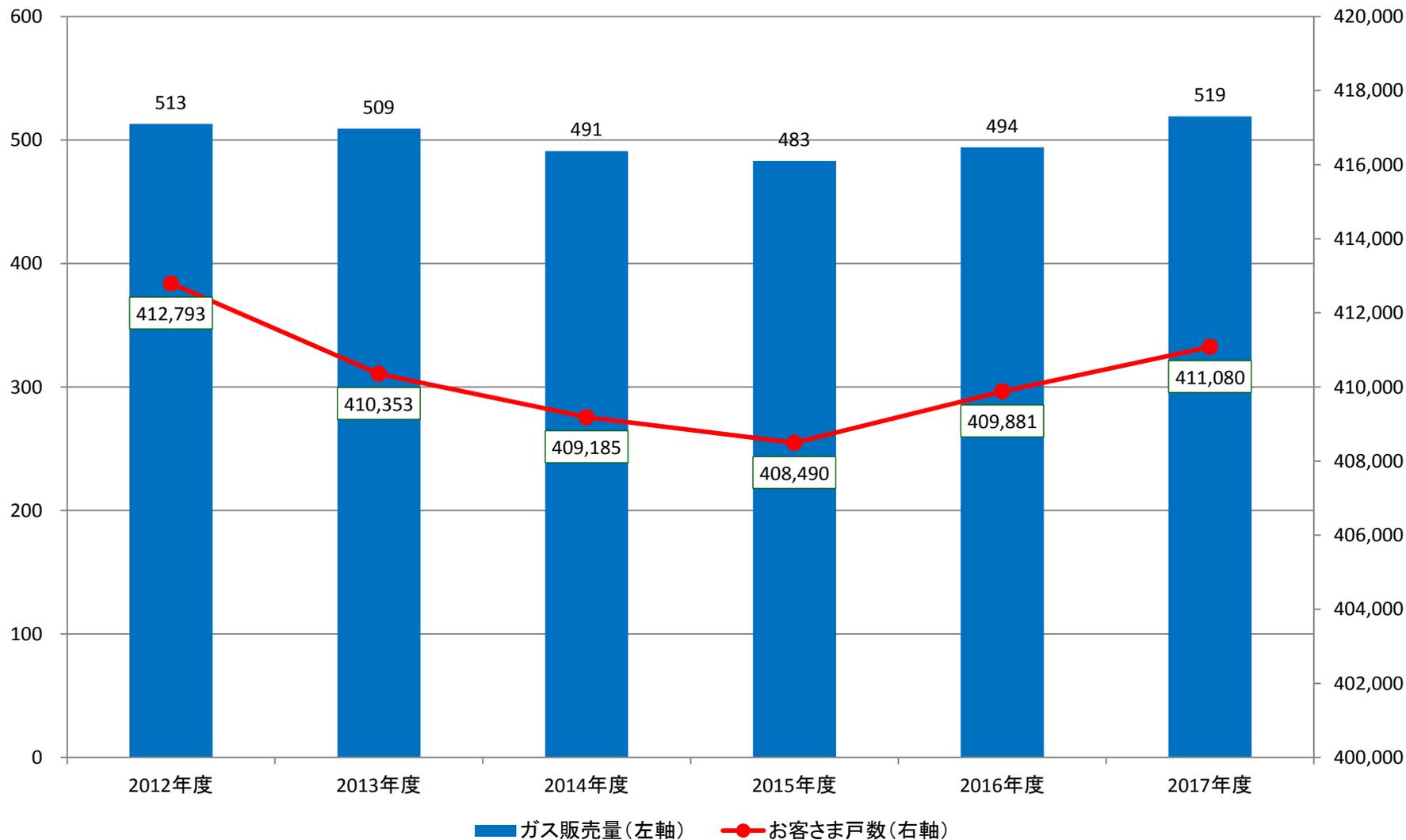


# (参考) ガス販売量とお客さま戸数の推移



(百万m<sup>3</sup>)

(戸)



## (2) 2017年度決算実績



(単位:百万円)

	2016年度	2017年度	増減	率(%)
売上高	70,002	73,717	3,715	5.3
売上総利益	28,819	28,422	▲397	▲1.4
営業利益	3,812	2,920	▲891	▲23.4
経常利益	4,310	3,506	▲803	▲18.6
親会社株主に帰属する 当期純利益	5,560	2,499	▲3,061	▲55.1
ROE(%)	13.0	5.3	▲7.7	-
原油価格 JCC (\$/bbl)	48	57	9	-
為替レート(円/\$)	108	111	3	-

(注1) JCC: (=Japan Crude Cocktail、全日本に輸入される原油の月間の加重平均入着(CIF)価格)



## 経常利益 ▲803百万円 の減益

(4,310百万円 ⇒ 3,506百万円)



「+」「▲」は利益に対する影響額を示す

- |                  |         |
|------------------|---------|
| 1. スライドタイムラグの影響  | ▲800百万円 |
| 2. ガス事業 販売量増加の影響 | 400百万円  |
| 3. LPG事業の減益 他    | ▲400百万円 |

# (3) セグメント別 決算実績



(単位:百万円)

		ガス事業	LPG事業	その他	調整額	連結
売上高	2017年度	57,803	14,709	3,970	▲2,766	73,717
	2016年度	54,396	13,433	6,400	▲4,227	70,002
	増減率(%)	3,406 6.3%	1,276 9.5%	▲2,429 ▲38.0%	1,461 —	3,715 5.3%
セグメント利益	2017年度	2,182	307	83	346	2,920
	2016年度	2,984	592	173	60	3,812
	増減率(%)	▲801 ▲26.9%	▲285 ▲48.1%	▲90 ▲51.9%	286 —	▲891 ▲23.4%
セグメント売上高利益率	2017年度	3.8%	2.1%	2.1%	—	4.0%
	2016年度	5.5%	4.4%	2.7%	—	5.4%

# (4) ① 財政状況



(単位:百万円)

	2017年3月末	2018年3月末	増減
総資産	102,363	102,717	354
負債 (有利子負債)	54,017 ( 36,310 )	51,757 ( 34,455 )	▲2,260 ( ▲1,854 )
純資産	48,345	50,960	2,615
自己資本比率(%) (D/E比率(倍))	44.8 ( 0.8 )	47.1 ( 0.7 )	2.3pt ( ▲0.1 )

## (4) ② 財政状況



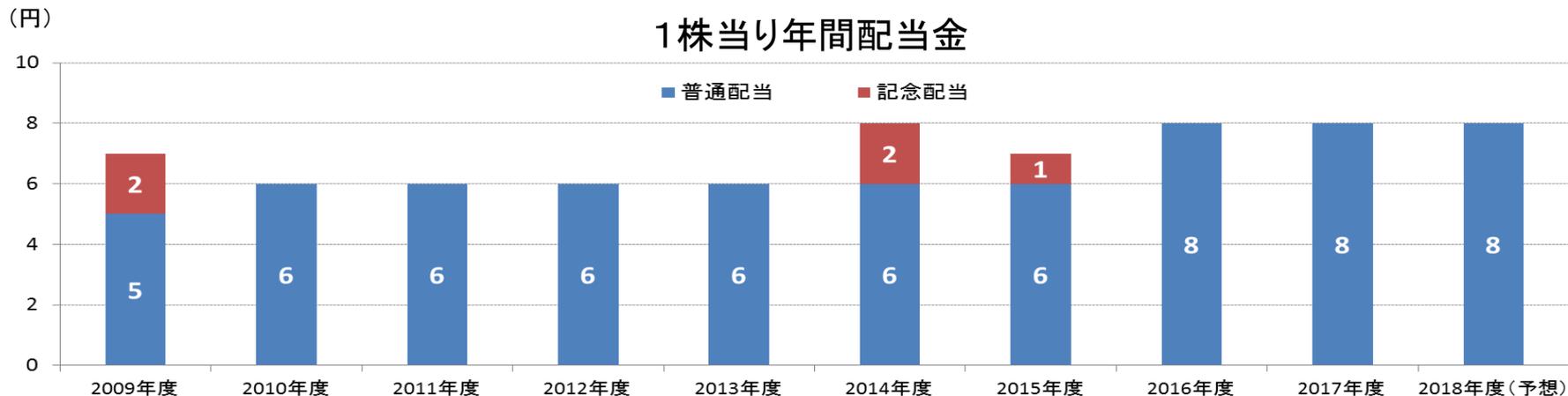
(単位:百万円)

	2016年度	2017年度	増減
営業CF	7, 263	11, 516	4, 252
投資CF (フリーCF)	▲8, 125 ( 2, 045 )	▲7, 468 ( 1, 918 )	657 ( ▲127 )
財務CF	▲1, 668	▲2, 630	▲961
設備投資額	8, 267	7, 401	▲866
減価償却費	6, 858	7, 269	411

# (5) 株主還元方針

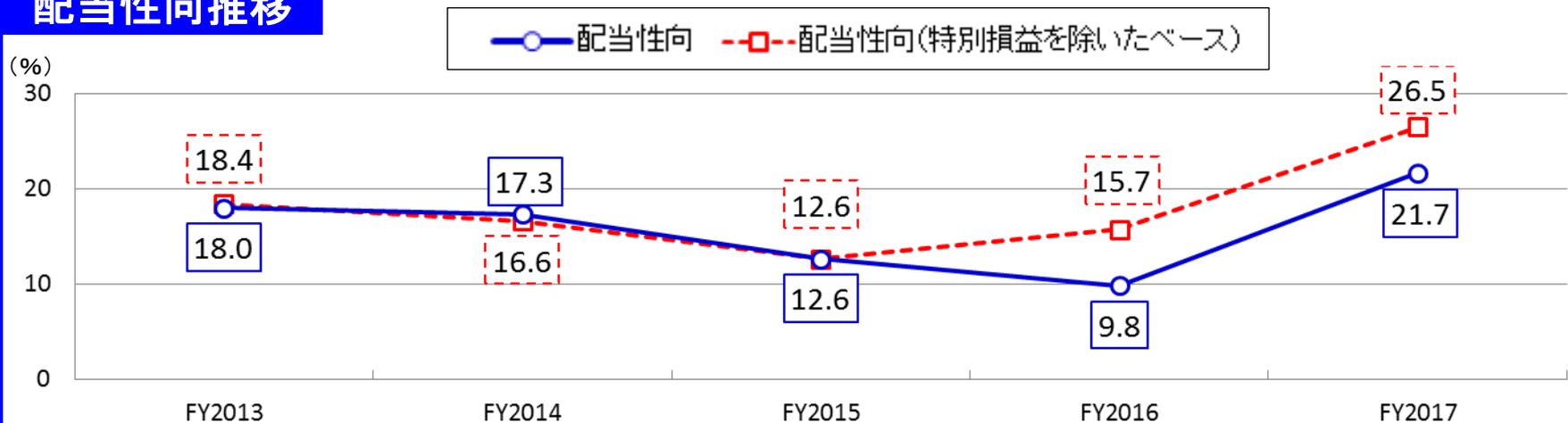


①徹底した経営効率化と積極的な営業活動の展開により、**安定配当を継続することを基本方針としつつ**、中長期の利益水準等を総合的に勘案し、**成長に合わせた配当を実施**、②短期的な利益変動要因を除き、**連結配当性向30%以上**を目指す



※2009年度は、創立100周年、2014年度は、東証一部指定、2015年度は、天然ガス供給開始20周年に対し、記念配当を実施

## 配当性向推移



## 2. 2018年度業績見通し

## 2. 2018年度 業績見通し



(単位:百万円)

	2017年度 (実績)	2018年度 (見通し)	差異
売上高	73,717	79,000	5,282
営業利益	2,920	3,100	179
経常利益	3,506	3,600	93
親会社株主に帰属する 当期純利益	2,499	2,400	▲99
ROE(%)	5.3	4.8	▲0.5
原油価格 JCC (\$/bbl)	57	65	8
為替レート(円/\$)	111	110	▲1



# (参考) 経常利益分析

## 経常利益 93百万円 の増益

( 3,506百万円 ⇒ 3,600百万円)

「+」「▲」は利益に対する影響額を示す

1. ガス事業 販売量増加の影響 +400百万円

2. スライドタイムラグの影響 +200百万円

3. 経費の増加 等 ▲500百万円

減価償却費の増加及び機能維持や競争力強化に向けた取組み 等

## 3. 中期経営計画

# (1) 電力・ガスシステム改革



電力は2016年4月に、都市ガスは2017年4月に全面自由化

全国におけるガスのスイッチング申込件数（2018年4月30日時点）

地 域	申込件数	地 域	申込件数
北海道	—	近畿	442,101
東 北	—	中国・四国	—
関 東	303,788	九州・沖縄	57,178
中部・北陸	130,291	全 国	933,358

※現在、中国・四国地方において、新たに一般家庭へ都市ガスを供給する予定の事業者はなし。

## (2) ① 中期経営計画 基本方針



- (1) **ガス体エネルギー(天然ガス・LPガス)の普及拡大**、エネルギーの高度利用を通じ、省エネ・省CO<sub>2</sub>およびエネルギーセキュリティの向上に貢献する。
- (2) お客さま目線でのサービスのあり方を追求するとともに、環境にやさしく、安心・安全で快適な暮らしを創造し、**お客さま価値の向上**を図る。
- (3) **エネルギー市場自由化に対し適切な対応**を図り、新たな事業展開を検討・実施する。
- (4) **公正かつ透明で風通しの良い組織へ変革**し、地域の好感度No.1の企業グループをめざす。
- (5) 従業員の能力・やりがいを高め、**グループの成長を担う人材の育成**を推進する。
- (6) グループ全体の収益性と健全性を高め、**強靱な企業グループを構築**するとともに、持続的な発展をめざす。

### 2020年ビジョンの目標

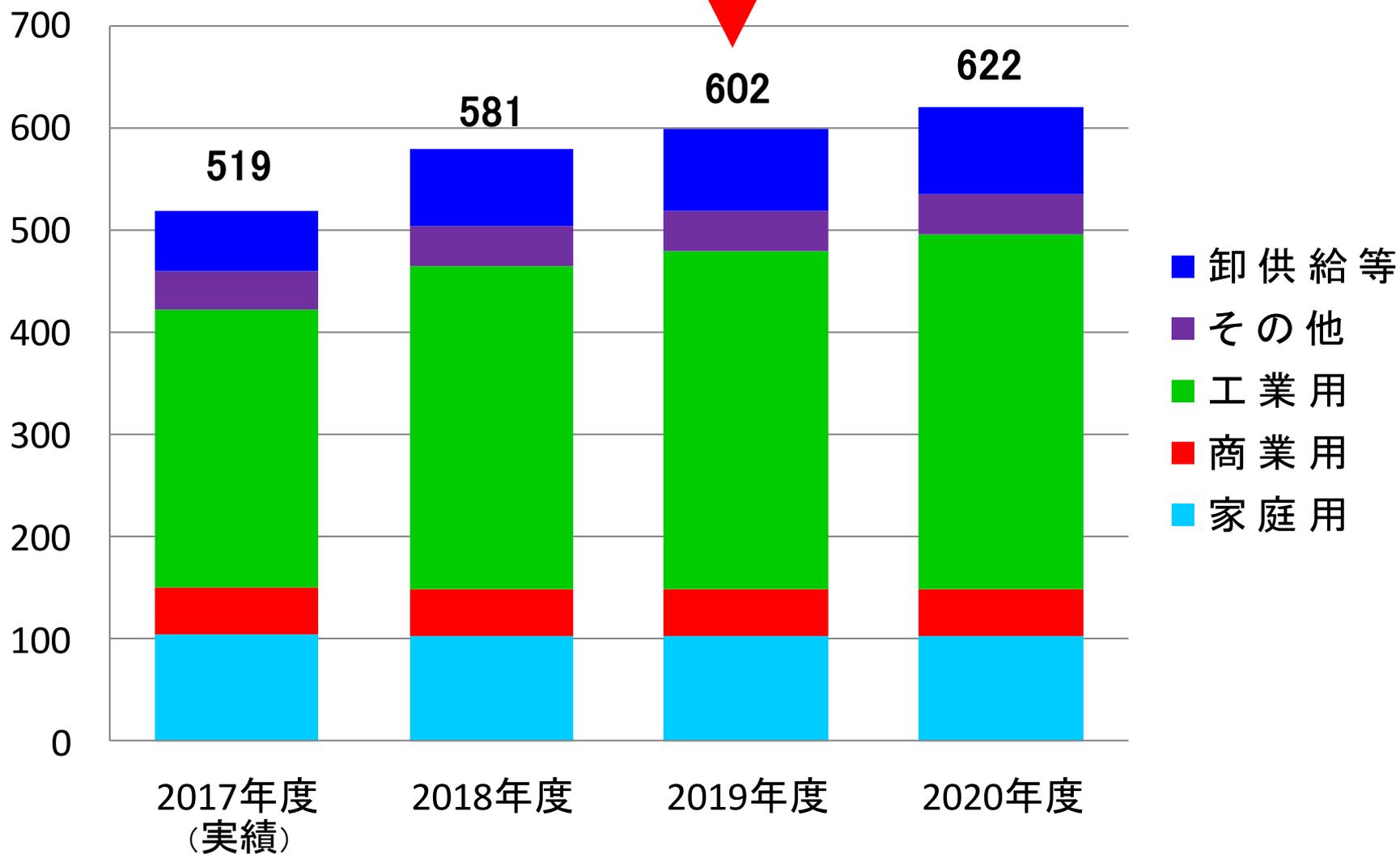
- ① 更なる天然ガスの普及拡大を図り、販売量**6億m<sup>3</sup>**を目指す。
- ② 更なる経営の効率化と収益力向上の推進。

## (2) ② 中期経営計画 都市ガス需給計画



(百万m<sup>3</sup>)

2019年度に6億m<sup>3</sup>達成の見通し



## (2) ③ 中期経営計画 設備投資計画



(億円)

	2017 年度 (実績)	2018 年度	2019 年度	2020 年度	3年間合計 (2018～2020)	備考
製造設備	6	12	3	1	17	廿日市工場 ボイラー設備等
供給設備	44	57	70	62	191	幹線投資(広島 湾岸幹線)等
業務設備等	19	8	6	1	17	建物・設備更新等
合計	69	79	81	66	226	

(端数処理の関係上、各項目の合計値は一致しない場合があります)

**減価償却費(2018～2020年度累計) : 約202億円**

## 4. トピックス

- (1) 持続的な発展に向けた取り組み
- (2) CSRへの取り組み

ガスで地域・お客さまの暮らしを支えながら、総合エネルギー事業者として成長するとともに、CSRにも積極的に取り組むことで地域から一番に信頼される会社となる。



新スローガン 「このまち思いエネルギー。」

# (1) ① 持続的発展に向けた取り組み

## 持続的な発展に向けた取り組み ～ガス・電力市場の自由化は成長の好機～



ガス販売量拡大と  
新たな収益源創出

### ① 都市ガス事業の強化、LPGを含むガス体エネルギーの拡大

- ・会員制Webサービス・ポイントサービスの導入
- ・新たな料金メニューの導入・料金値下げの検討
- ・他ガス事業者等との連携強化

お客さま件数の拡大  
(水平的拡大)

一件当たり販売量の拡大  
(垂直的拡大)

ガス販売量拡大を支える  
製造・供給インフラ整備



### ② 電力事業

(環境変化に適応し、総合エネルギー事業を目指す)

- ・廿日市工場コージェネレーション (発電容量：11千kW 2004年9月～)
- ・大規模太陽光発電事業 (発電容量：0.7千kW 2013年10月～)
- ・バイオマス混焼発電所 (発電容量：約10万kW 2021年3月予定)



卸電力事業  
の拡大



# (1) ② 販売量の拡大



## ①販売量の拡大(水平的拡大)

東広島市・福山市への供給エリア拡大(7市4町体制)

未開発地域／市場の開発、供給エリアの面的拡大⇒ガス販売量の拡大

東広島市: 広島県の中央(広島市の東)に位置する広島市のベッドタウン。  
広島大学の所在地。

## ②販売量の拡大(垂直的拡大)

### 家庭用

エネファーム(家庭用燃料電池)の販売拡大

⇒ 2018年度 **販売目標 : 615台**

### 工業用・業務用

東日本大震災後の分散型電源、省エネ機器に対するニーズの高まり

⇒ ガスコージェネレーション(エンジン/タービン、燃料電池)、

ガス空調(GHP等)の販売拡大の好機

**地域エネルギー供給(スマートコミュニティ)の促進**

**省エネ、省CO2、エネルギーセキュリティ向上に貢献**

# (1) ③ 各種サービスの充実



## 会員制Webサービス・ポイントサービスの導入



「このまち思いエネルギー。」

まちには人がいる  
このまちの「ひと」思いサービス

- ・Web会員サイト
- ・ポイントサービス



まちにはくらしがある  
このまちの「くらし」思いサービス  
・生活関連サービス



広島ガスくらしサービス

## 新たな料金メニューの導入

### 2018年度

## 学びと長寿応援プラン (2018年7月～)

- 「このまち」の次世代を担う『ジュニア世代』、また、これまで「このまち」の発展に多大なる貢献をしていただいた『シニア世代』といった「ひと」を思い、これらの方々が「集い、くらす」施設※を応援するため、**ガス料金を3%割引**

※認可保育所等の「保育所」、幼稚園や小中学校等の「学校」、養護老人ホームやデイサービスセンター等の「老人福祉施設」

# (1) ④ 各種サービスの充実



## 広島ガスライフ(株)の設立

### 目的

お客さま接点業務(ガスショップ事業)をより一層強化するため、ガスショップ事業を統合し、機能強化とサービスレベルの更なる向上を図る

### 設立会社の概要

(1)会社名	広島ガスライフ株式会社
(2)本店所在地	広島市南区皆実町一丁目 10 番 18 号
(3)役員	取締役会長 松藤 研介 代表取締役社長 久保 賢司
(4)主な事業内容	①広島ガス株式会社およびその関係会社より委託された業務の遂行 (ガスの開栓・閉栓、ガス料金等の集金、ガス機器の修理等) ②ガス関連機器、住宅関連機器、生活関連用品等の販売および設計施工 ならびに修理 ③ガス管工事等の建設工事の設計・管理・監督および請負施工 ④お客さま接点およびサービス強化に資する商材販売、サービス等の実施
(5)設立時資本	3,000万円(資本金1,500万円、資本準備金1,500万円)
(6)出資比率	広島ガス株式会社 100%
(7)設立年月日	平成30年6月1日

# (1) ⑤ インフラ整備：供給設備／導管網の増強



# (1) ⑥ インフラの維持(防災センタービル)



## 目的

- ・日常のガス供給保安業務
- ・地震時、災害時等の初動体制を執る防災拠点の確保
- ・復旧活動へ速やかに移行できる体制の強化

## 概要

- ・建設地：本社構内(広島市南区)
- ・階数：地上6階(地上5階、屋上塔屋)
- ・延床面積：約3,900㎡
- ・構造：1階RC造、2～5階SRC造  
柱頭免震構造+床免震構造※一部
- ・工事期間：2016年11月 着工  
2017年12月 竣工

## 完成写真



## 機能

- ・震度7クラスの地震に耐える免震構造
- ・免震装置、執務室、重要設備機器を全て2階以上に配置し、津波等による浸水被害を回避
- ・非常用発電機による電源バックアップや、非常用給水、排水設備の確保により、外部からのインフラが途絶えた場合にも一定期間補給無しに業務継続が可能

# (1) ⑦ (電力事業)バイオマス混焼発電事業の実施

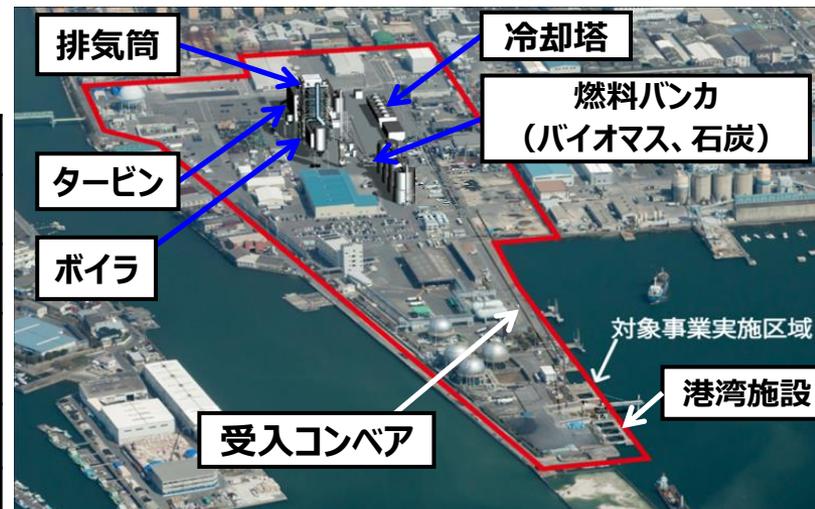


## 海田バイオマス混焼発電事業の実施について

中国電力と合併契約を締結し、両社で新会社を設立。

### 【発電所概要】

発電所名	海田発電所	
発電設備	発電出力	約10万kW (送電端)
	発電方式	循環流動層ボイラ
	使用燃料	バイオマス(うち国内材は広島県内から調達), 石炭, 天然ガス(助燃・バックアップ用)
工事開始	2018年12月 (予定)	
運転開始	2021年3月 (予定)	



### 【新会社概要】

会社名	海田バイオマスパワー株式会社
本社所在地	広島県安芸郡海田町明神町2番118号
設立日	2017年10月30日
設立時資本	資本金1億円、資本準備金1億円
出資比率	広島ガス (50%) , 中国電力 (50%)
事業内容	バイオマス混焼発電所の建設, 運転, 保守および電力の販売

⇒ 県内の林地残材等の未利用木材や、海外の木質系バイオマス等さまざまな未利用資源を積極的に活用することで、**再生可能エネルギーの普及拡大**や**地域経済の活性化**に貢献。

## (2) ① CSRへの取り組み(環境への取り組み)



### ①お客さま先での環境負荷の低減

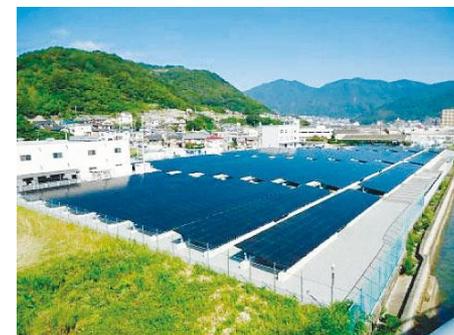
- ・エネルギー利用効率の高いガスコージェネレーション
- ・天然ガス高効率利用の促進(ガス空調)
- ・エネファーム(家庭用燃料電池)の普及促進



エネファーム

### ②事業活動における環境負荷の低減

- ・ガス導管工事における排出物削減と再資源化
- ・ガスコージェネレーションシステムの導入(廿日市工場)
- ・ISO14001認証取得
- ・大規模太陽光発電設備の設置
- ・海田バイオマス混焼発電事業の実施



阿賀太陽光発電所(呉市)

### ③地域環境保全への貢献

- ・地域清掃活動
- ・各種環境フェアなどへの出展
- ・地域環境保全推進団体・環境啓発事業への参画



事業所周辺清掃

## (2) ② CSRへの取り組み(地域貢献活動)



### 芸術・文化振興、地域振興

- ・「広島交響楽団ホットコンサート」の開催
- ・ひろしまフラワーフェスティバルへの参加
- ・「広島インドネシア協会」における国際交流活動
- ・「呉みなと祭」「尾道みなと祭」  
「三原やっさ祭り」への参画



広島交響楽団ホットコンサート

### 教育支援(次世代教育への取り組み)

- ・食育、火育、エネルギー・環境教育、防災教育などの  
次世代教育への積極的な取り組み



エコ・クッキング教室

※「エコ・クッキング」は、東京ガス(株)の登録商標です

### スポーツ振興

- ・スキー部(ソチ五輪銀メダル 竹内智香)
- ・バドミントン部(日本リーグ所属)
- ・サンフレッチェ広島「広島ガススポンサードゲーム」の開催
- ・広島東洋カープ「広島ガススポンサードゲーム」の開催
- ・広島東洋カープ地元4社で合同応援の実施



スキー部 竹内智香

# ご清聴 ありがとうございました

本資料に掲載されている業績予想等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報および合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績は今後のさまざまな要因によって大きく異なる結果となる可能性があります。



このまち **思い** エネルギー。

# 広島ガス

# (ご参考) 会社概要



■お客さま件数 41万1千件(2018年3月31日現在)

■都市ガス供給区域 広島県内の7市4町

■広島県東部地区にて福山ガスに卸供給

■東京証券取引所市場第一部銘柄に指定(2015年3月9日)

■証券コード 9535

■単元株式数 100株

■発行済株式総数 67,998,590株



## 供給区域と体制

供給区域(広島県内7市4町)

広島市、呉市、尾道市、三原市、廿日市市、東広島市、福山市、安芸郡海田町・坂町・府中町・熊野町

お客さま戸数  
411千件



# (ご参考) 主要決算数値



【ご参考】主要経営指標(過去10年)

(百万円)

	FY2008	FY2009	FY2010	FY2011	FY2012	FY2013	FY2014	FY2015	FY2016	FY2017
売上高	82,965	70,524	73,311	76,731	77,912	83,541	88,851	76,303	70,002	73,717
営業利益	2,287	3,067	3,782	1,347	2,841	2,058	4,111	5,475	3,812	2,920
経常利益	2,860	3,106	3,959	1,803	3,170	3,235	4,699	5,775	4,310	3,506
当期純利益(※1)	-1,907	2,083	2,606	91	1,835	1,969	2,746	3,647	5,560	2,499
減価償却費	7,553	7,724	7,463	7,221	6,449	7,284	6,925	7,091	6,858	7,269
営業キャッシュフロー(※2)	9,379	9,807	10,070	7,313	8,285	9,253	9,671	10,739	10,313	9,319
設備投資額	6,098	4,106	3,864	5,457	7,227	12,257	9,667	9,851	8,267	7,401
フリーキャッシュフロー(※3)	3,281	5,701	6,205	1,856	1,057	-3,004	4	887	2,045	1,918
総資産	99,623	93,754	88,841	91,135	89,806	96,785	99,759	102,357	102,363	102,717
自己資本(資本)	26,530	28,560	30,471	30,142	32,190	33,586	37,340	39,961	45,825	48,332
有利子負債	50,768	44,366	38,726	40,707	36,193	42,360	39,215	37,350	36,310	34,455
ROA(%) (※4)	-1.8	2.2	2.9	0.1	2.0	2.1	2.8	3.6	5.4	2.4
ROE(%) (※4)	-6.3	7.6	8.8	0.3	5.9	6.0	7.9	9.4	13.0	5.3
自己資本比率(%)	26.6	30.5	34.3	33.1	35.8	34.7	37.4	39.0	44.8	47.1
EPS(円)	-32.4	35.3	43.9	1.5	31.2	33.3	46.3	55.7	82.0	36.8
BPS(円)	449.8	482.1	512.9	512.4	545.2	567.1	571.0	590.1	675.2	715.2
D/E レシオ	1.9	1.6	1.3	1.4	1.1	1.3	1.1	0.9	0.8	0.7

※1 2015年度より「親会社株主に帰属する当期純利益」に表記変更

※2 「営業キャッシュフロー＝当期純利益＋減価償却費」により算定

⇒FY2008、FY2016、FY2017はキャッシュを伴わない特別損益を加減

〈FY2008〉循環取引損失2,364百万円、循環取引損失引当金繰入1,369百万円 〈FY2016〉債務免除益2,105百万円 〈FY2017〉退職給付制度改定益449百万円

※3 「フリーキャッシュフロー＝営業キャッシュフロー－設備投資額」により算定

※4 ROA・ROE算定の総資産・自己資本は期首・期末の平均値

# (ご参考)販売量データ



【ご参考】主要経営指標(過去10年)

		FY2008	FY2009	FY2010	FY2011	FY2012	FY2013	FY2014	FY2015	FY2016	FY2017
家庭用	販売量(百万m3)	106	106	108	107	105	103	103	100	99	104
	対前年比(%)	-2.8	0	1.9	-0.9	-1.9	-1.9	0	-2.9	-1.0	5.1
商業用	販売量(百万m3)	57	51	51	49	48	47	45	43	44	45
	対前年比(%)	-8.1	-10.5	0	-3.9	-2.0	-2.1	-4.3	-4.4	2.3	2.3
工業用	販売量(百万m3)	243	269	275	273	262	258	242	242	255	271
	対前年比(%)	-10.3	10.7	2.2	-0.7	-4.0	-1.5	-6.2	0.0	5.4	6.3
その他用	販売量(百万m3)	35	34	39	37	37	38	37	36	38	38
	対前年比(%)	-7.9	-2.9	14.7	-5.1	0	2.7	-2.6	-2.7	5.6	0.0
卸供給	販売量(百万m3)	46	51	54	55	60	61	62	60	56	58
	対前年比(%)	48.4	10.9	5.9	1.9	9.1	1.7	1.6	-3.2	-6.7	3.6
合計	販売量(百万m3)	488	512	529	524	513	509	491	483	494	519
	対前年比(%)	-4.9	4.9	3.3	-0.9	-2.1	-0.8	-3.5	-1.6	2.3	5.1